

# 聴覚特性を考慮した音信号処理

## Auditory-motivated sound signal processing



鷓木 祐史

情報科学研究科

2009 1/29 12:40 – 13:20

知識科学研究科講義棟 2F K3・4講義室



私達人間は、雑音や残響がある実環境において、いともたやすく狙った音を聴き取ることができます。しかし、同じことを計算機で実現することは非常に難しい問題です。もし計算機上に聴覚と機能的に等価な信号処理システムを構築することができれば、音声認識や補聴システムといった様

々な音信号処理に応用することができます。鷓木研究室では、聴覚の優れた能力を究明し、それに基づいた(聴覚的な)音信号処理の実現を目指しています。今回は、これまでの研究成果だけでなく、最近のホットな話題から本研究室で発明された新しい音信号処理法をデモつきで概説します。昼休みの時間に、お茶とサンドイッチとともに楽しみください。



The slide will be in English. Foreign audience are welcome!



冬季の間、開催場所を変更します。  
K3・4講義室は、知識講義棟2F、  
学生課の向かいにあります。

学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人: 鷓木、小矢野、橋本、長谷川、戸田、寺倉